

わたしたちのまちの財政状況

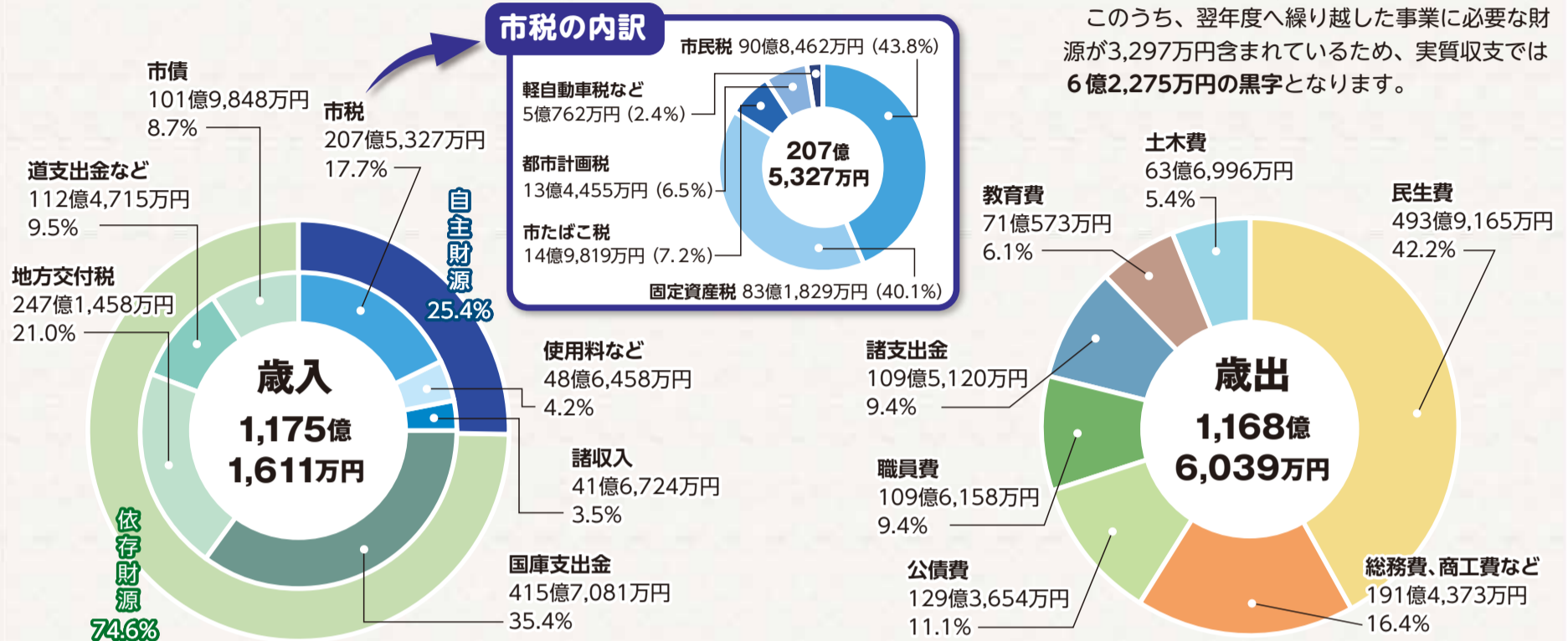
20(令和2)年度一般会計と特別・企業会計の決算

一般会計

一般会計とは、教育や福祉、土木など基本的な行政運営に要する経費を、市税などを主な財源として経理する会計のことです。
 ※自主財源…税金や公共施設の使用料など、市が自分で集めるもの。 ※依存財源…補助金など国や道の意思により定められた額を交付されるもの。

歳入総額 1,175億1,611万円 — **歳出総額 1,168億6,039万円** = **差引額 6億5,572万円**

このうち、翌年度へ繰り越した事業に必要な財源が3,297万円含まれているため、実質収支では6億2,275万円の黒字となります。



令和2年度決算の特徴

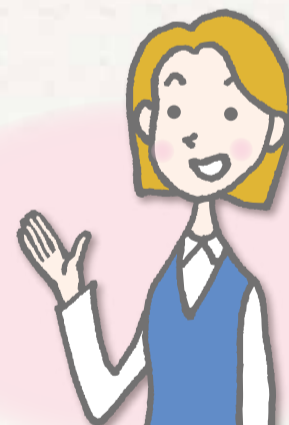
歳入では例年に比べ、国庫支出金の割合が大きくなっています（前年度と比べ約228億円の増額）。
 大きな要因は、1人一律10万円を給付した特別定額給付金給付費（約167億円）や新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金（約33億円）等によるものです。
 また、歳出では、特別定額給付金給付費等により、前年度と比べ、民生費の割合が約8%増加しています。

特別・企業会計の決算

●特別会計の決算

特別会計とは、特定の事業やサービスを提供するため、利用者から保険料や使用料などをいただき、その財源をもとに事業を運営していくための会計のことです。

会計名	歳入	歳出	歳入歳出差引額
国民健康保険	169億4,525万円	167億9,543万円	1億4,982万円
国民健康保険阿寒診療所事業	4億3,139万円	4億3,139万円	0
国民健康保険音別診療所事業	3億1,083万円	3億1,083万円	0
後期高齢者医療	25億8,728万円	25億4,418万円	4,310万円
介護保険事業勘定	170億6,938万円	163億8,538万円	6億8,400万円
介護サービス事業勘定	9,015万円	9,015万円	0
魚揚場事業	2億5,540万円	2億5,540万円	0
駐車場事業	1億2,183万円	7,668万円	4,515万円
動物園事業	3億9,382万円	3億9,045万円	337万円



●企業会計の決算

企業会計とは、自ら事業を行い、そこから得たお金で運営していく、民間企業と同様の経理を行う会計のことです。

会計名	区分	収入	支出	収入支出差引額	不良債務
病院事業	収益的収支(※)	193億2,435万円	174億1,562万円	19億873万円	
	資本的収支(※)	19億2,803万円	26億3,869万円	△7億1,066万円	
水道事業	収益的収支	52億9,878万円	44億2,737万円	8億7,141万円	
	資本的収支	17億5,233万円	43億6,158万円	△26億925万円	
工業用水道事業	収益的収支	7,323万円	5,738万円	1,585万円	
	資本的収支	-	8,999万円	△8,999万円	
農業用簡易水道事業	収益的収支	2,602万円	2,664万円	△62万円	
	資本的収支	-	352万円	△352万円	
下水道事業	収益的収支	75億7,878万円	60億9,126万円	14億8,752万円	5,779万円
	資本的収支	22億2,795万円	44億8,047万円	△22億5,252万円	
公設地方卸売市場事業	収益的収支	1億4,725万円	1億697万円	4,028万円	
	資本的収支	3,233万円	5,179万円	△1,946万円	
港湾整備事業	収益的収支	8億4,393万円	7億6,222万円	8,171万円	
	資本的収支	-	1億8,504万円	△1億8,504万円	

※収益的収支…経常的企業活動に伴い、年度内に発生すると見込まれるすべての収益とそれに対応するすべての費用。
 ※資本的収支…施設の整備や企業債の償還元金等の支出、またそれらに要する資金としての企業債収入等。

主な市有財産の現在高

(21(令和3)年3月31日現在)

有価証券	3億5,636万円
債権	18億1,752万円
基金	133億3,058万円
土地	4,319万㎡
建物	112万㎡
山林	4,745万㎡